

# 打破

—あなたにはあなたらしく  
輝いてほしい—

ピーラー・ピロコ

# 打破

～あなたにはあなたらしく輝いて欲しい～

ピーラー・ピロコ

## はじめに

わたしが「自分らしく」生きようと決めたとき、いちばん邪魔をしているものはなんだろうと考え抜いて、そして出た答えが「お金」でした。

それと共に、自分がそれまでどれだけお金に縛られ、振り回されてきたのかに気がついたときに、愕然としました。

裕福ではない家庭で育ったのも大きいと思います。

末っ子のわたしが生まれたのと同時に共働きだった母親は、学校教師を辞めて専業主婦になりました。同じく教員だった父親1人の稼ぎで、3人の子どもを大学に行かせ、一人暮らしの仕送りまでしていたわけですから、当然贅沢とは無縁な家庭でした。

わたしは、小さい頃から買いたいもので値段を気にせず買ったことなど一度もありませんでした。

大学の一人暮らしはもちろん節約暮らし、その後、劇団に入り、貧乏暮らし。いかにお金を使わずに済むか、まずはそれがベースでした。

その後、家庭を持ってもすべてのレシートを管理し、子どもの通帳に毎月いくら入れて、食費にはいくら使えて、美容室には何カ月おきに行けるだろうとか、まあ「お金」のためにどれだけの時間を費やしてきたことか。

そんな生活しか送ってこなかったわたしが「自分らしく」生きたいと心底思ったとき、「お金」という物質に自分がこんなに振り回されているって、どれだけ「お金」って偉いのよ！ って気がついちゃったんですね。

そして、「お金」という物質から自由になろうって決めた瞬間にわたしが一番ワクワクしたことは、「読みたい本を心の赴くままに買うこと」だったのです！  
自分でもこんなに嬉しいことだなんて知りませんでした。

わたし、本には苦手意識がすごかったんですね。

まずは、小学校で本を読む冊数を競う行事が当然のようにありました。葉っぱを貼ってどのクラスが一番生い茂っているかを競うのです。さほど興味もない本を競争のため

に読みました。

そして、たまたま兄がものすごく本を読む人で、「学校の本をすべて読んだんだ」と言っている親の言葉を聞いて、勝手に比較されていると感じていました。

さらに、実家には山ほどある本。実家を出てずいぶん経ってから気がついたのですが、兄たちとわたしの部屋を仕切っていたのがすべて本棚だったのは普通ではなかったのかもしれません。

本に興味が持てない劣等感しかなかったわたしが、それは単に「自分の好きな分野」の本に出会えていなかったただだと気がついたのです。いや、そこにベールを被せていたのですね。

自分が好きなことに壁を作らず「お金」を使おうと思ったときに、心も一緒に開放されたのです。

本を自由に見えることに一番の喜びを感じたわたしに、一番びっくりしたのはわたしだったのです。

興味のあることがどんどん深く知れる。わたしの知欲を満たしてくれる。

首がもげそうなくらいうなずいたり、声を出して涙を流したり、心の底からうなずいたり、羨望の眼差しを向けたり、枕元に置いてみたり。

たった1500円前後の「本」にこんな勇氣をもらって、その人のすべての想いや莫大な時間をかけて養った知識や情報を教えてもらって、本ってなんて素晴らしいんだって何度思ったことか。

それってやつぱり、自分の好きにちゃんと向き合って、素直にお金を使ったからなんですよ。

わたしをそんなふうに楽しませてくれた本に、いつかわたしも誰かの背中を押せるような本を出せたらいいなと思うのは自然の流れでした。

わたしが舞台上に立ったのも、「自分らしく生きる」メッセージを伝えたかったから。

わたしがカウンセラーになったのも、その人が「その人らしく生きる」背中を押したかったから。

そして、わたしが本を書きたいのも、同じ理由です。

なぜならば、自分らしく生きるのが、わたし自身とても大変だったから。

自分の心に素直に生きるのが、大変なところ（地球）だからこそ、誰かの背中をそつと押したい。

大変なのはわかっている。だからこそ、誰かの力になりたい。  
わたしができることで。

そんな本になったらいいなと思って精いっぱい綴りますね。  
どこかの誰かの「心のお守り」になれたら、こんなに嬉しいことはありません。

ピーラー・ピロコ

第1章

プロローグ

子どものころ受け取ったメッセージ

14

夢がない理由

20

自分の気持ちに素直になると起こること

25

妊娠と孤独

30

「孤独」からすべては始まる〜宇宙〜

33

本当はあなたがやるべきことは宇宙が背中を押してくれる

36

第2章

人生はすべてお望み通り

波乱万丈を望む

42

心の底から幸せを望む

45



### 第3章

先にイメージが降りてくる

夢が叶わない理由

結局すべて叶っている

すべてのことは次への序章でしかない

## 自分らしく生きるためにすること

自分の「普通」は「特別」なことと知る

自分を知るための占い

やることリストをやめる

なんとなくを大切にする

嫌いな人を見逃さない

自分のブロックに立ち向かう

自分の望みは宇宙の望み

自分はそれ以上でも以下でもない

## 第4章

### 幸せに過ごすためにすること

自然と共にあること

食事をいただくときにすること

自分の「好き」に妥協しない

夜寝るときにすること

感謝をすること

## 第5章

### 願いを叶えるためにすること

願いを明確にすること

演じる

自分だけの流れに乗る

おわりに

189

あなたが主役

186

以降、  
7-194ページは  
このサンプルには含まれません。



9784867394557